

男女共同参画通信

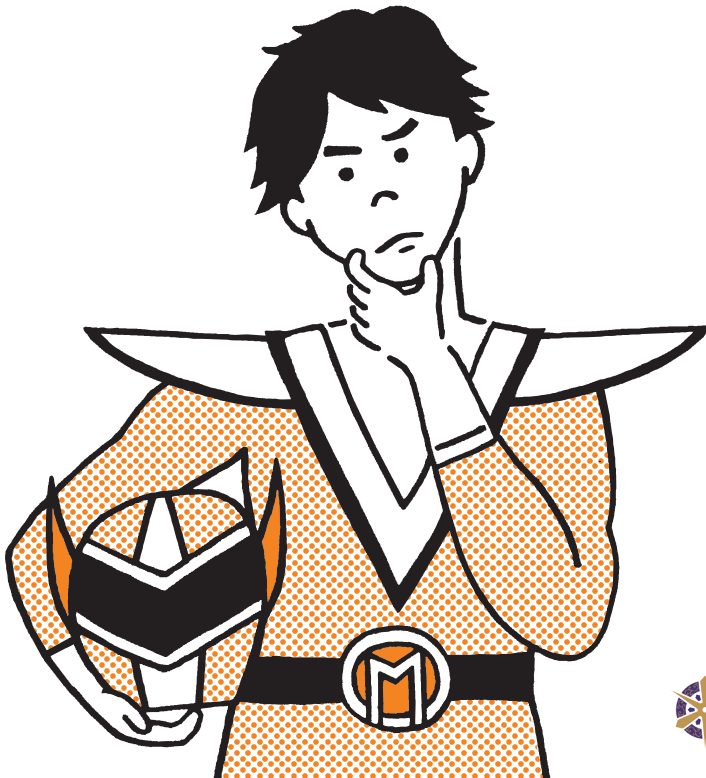
GENDER EQUALITY NEWSLETTER BY WINGS KYOTO

October 2019
@KYOTO CITY

vol.48

しんどい？ やっかい？ ホントに必要？

“男らしさ”の、 ナゾ。



座談会 男だけでしゃべってみる。

しんどい男らしさって、一体なんだ?!



男らしくならねばと無理をした瞬間

西井.. みなさん、普段の生活で、男性であることを理由にしんどさを感じることはありますか?

F.. 僕、男だからってゴキブリの処理を任されるのがすごい嫌で。

西井.. 虫、苦手なんですか?

F.. 苦手。なんで男は全員、ケテモノが得意だと思ってるんだろって(笑)

I.. 男は虫が平気で女性には苦手っていう思い込み、あれなんなんですかね? 自分の娘はダンゴ虫たくさん捕まえて遊んでますし。

西井.. 僕小さい時、女の子向けのアニメが好きでよく見ていたんですよ。それを保育所で話したら先生に「男の子なのにそんなの見て大丈夫?」って言われて。それ以来見れなくなりました。

I.. うわー。やっぱり成長するうちに刷り込まれていくのかな。

A.. すいません……今そのセリフ、自分

の子どめに言ってます。息子が女の子向けのアニメを見てたら止めます……。

西井.. おお、そうなんですね(笑)。どうしてなんででしょうか?

A.. なんですけど、生理的なものなんですかね? あっ、息子を、男らしく育てたいって想いがあるんですわ。

西井.. 男らしくってというのは具体的に?

A.. 肝が据わってほしいとか、武道派になつてほしいとか……。なよなよ系に育つのが嫌で。だから息子が女の子より運動が得意なのをみると、イライラします……。あかんってわかってるんですけど……。

M.. 男は筋肉をつけるべき、みたいなのはわかります。前にジムで自分が使いたい機材を、自分より筋肉がない男性がのんびり使っているのを見て、イライラしたことがある。

T.. 僕、小さい頃から女の子と遊ぶことが多かったからか、喋り方とか振る舞いが女の子っぽい、って学校でからかわれたことがあって。それ以来、なよなよを忌避して、体力をつけたり、語尾を「シッ」と切っちゃべった

座談会 参加メンバー



ファシリテーター
西井 開 (30才)
男性の語りの場をつくる任意団体「Re-Design For Men」代表



Fさん (26才)



Tさん (24才)



Aさん (36才)



Iさん (38才)



Mさん (32才)

“男”であることを理由に、不自由を感じたり、無理したことってありませんか? ノープロブレム! という人もいるでしょう。しかし、「正直しんどい……」という男性たちの声もかすかに聞こえ始めています。世の男性たちはどんな時にしんどさを感じ、どうやって向き合っているのか? しんどい“男らしさ”のナゾに迫るべく、男だけのしゃべり場を決行!

男らしさの押し付け合いは、男同士で起こってる?!



男らしさの押し付け合いは、男同士で起こってる?!

A.. はい、そうします(汗)

西井.. それはしんどい経験ですね……。

A.. さん、ぜひ息子さんにフ○キユアを見せてあげてください……!

T.. そういえば、当時僕を「女っぽい」ってからかってきたのはだいたい男友達だった気がする。男性間で、男らしい振る舞いを押し付け合うシチュエーションって、多くないですか?

I.. 確かに、男友達との飲み会で、車の話か女の子の話をしていないといけない、みたいなプレッシャーは感じる。

西井.. 男同士だと女性の話をしたり前、みたいな空気は確かにありますね。F.. 修学旅行の夜、男友達と誰がタイプ

か、みたくないことを言い合ったの、あれ嫌でしたね。「男だったらあの子をかわいいと思うべき」みたいなことも言われて。「男だったら」ってなんの根拠にもならないのに、さも根拠があるように言われるのが、すごい嫌でした。

A: 確か……。僕は、男同士がその場のノリで盛り上がりだつてるとしか思つてなかつた……。

!: まあ、楽しい時もあるんですけど、僕もなんか合わなくて。でもみんながそういう話をしてるのにもいまいちかかって思つて、無理矢理しゃべつたことはありましたねえ。



「男らしさ」はどう変わる?

西井: 家庭生活はどうですか? 「男らしさ」を意識することってありますか。

!: 僕、長い間、家事と育児を女性に任せて、外でバリバリ稼いで夜遅く帰ってくる

昔ながらの「男らしい」男性こそ「いいパパ」だと思つてたんですよ。でも子どもが生まれて、育児を一ヶ月取つて家のことを初めて一人でやつた時、家事と育児の大変さがわかつたし、男は仕事一本、つていう時代じゃないな、つて。以来働き方が変わつて、家事もほぼ半々で分担できています。

A: そうなんですか……。私はもうエンドレスで残業しちゃうタイプで。

西井: ちなみに、何時くらいまで?

A: 昔ほどい時は、深夜2時、3時とか。

F&T: えーっ!?

A: 割と朝スカツとするんですよ(笑)。でも家で洗濯と掃除を担当しているんで、何時に帰ろうと洗濯機回すのは僕で。そうなるよ「いやこれはやつてくれよ」つてついイライラしてしまつて。正直、根底には「家事は奥さんがやつてしかるべき」つて固定観念があるんだと思います……。

西井: なるほど。他の皆さんも、男の役目の女の役目、とかを意識することはありますか?

M: 僕は今、介護の仕事をしているんです

けど、体格の大きい利用者さんとかは、男性が担当することが多いんです。体を張るのは男の役目、みたいな。T: 男性は女の子におごるべき、つていうのもそうですね。

F: 男は車道側を歩いて、女の人を守るべき、みたいなもの。

!: それって逆に女性に、守られる。おごられる。みたいな役割を押し付けてるつてことですよねえ。

T: でも、最近周りで、「おごられるの嫌つていう子が多いんですよ。」「おごるんか、別にそんなところでアピールせんていいから」つて(笑)。

西井: おもしろい。世代によつて、男らしさ、みたくないものも、変わつてきているのかもしれないですね。知らず知らずのうちに自分とか、誰かを苦しめている。らしさ、みたくないものに気づいて、別のやり方を身につけられたらいいですね。



実際どうなの?

データから見る「男らしさ」事情

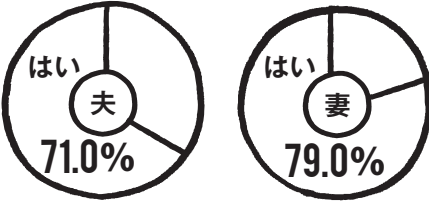


データ2

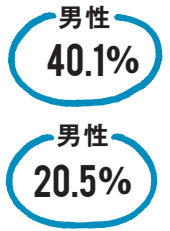
長く働く男がえらい?

「男性は子育て中だろうと長時間労働はあたり前、と言う空気を感じる」

博報堂生活総合研究所「生活者の平成30年史 データで読む価値観の変化」2019年 日本経済新聞出版社より作成



夫と妻、共に70%以上の方が「感じる」と回答。この空気感が、男性を職場に縛り付け、家事や育児から遠ざけているのかもしれない。



「困った時・いざという時に助けてくれる友達がいる」と答えた人の割合

「友人からいろいろな相談をもちかけられる」

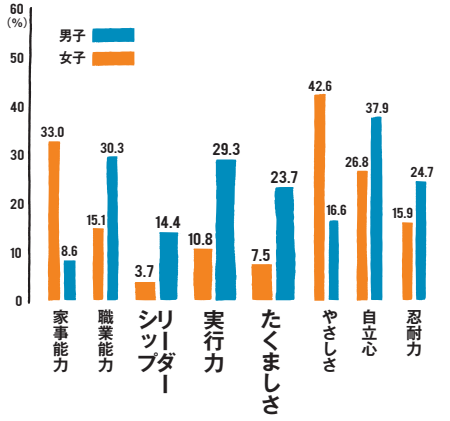
困った時助けてくれる友人がいると答えた男性は半数以下。女性との差も目立ちます。友人から相談を持ちかけられる男性もわずかに約2割と、男性が頼れる友人関係を持たない傾向にあることが分かります。

博報堂生活総合研究所「生活定点 1992-2018」より作成

データ1

子どもに身につけさせたい能力 (男女比)

京都市「男女共同参画に関するアンケート報告書」(平成26年度)より作成



「たくましさ」「リーダーシップ」「実行力」において、男女に大きく差が出ています。物事を決め、人をリードすることを男性は幼少期から求められがちであることがわかります。

男は強く、たくましく?



データ3

困ったときに、頼れない?



専門家に聞く！

しんどい「男らしさ」が生まれるワケ。

「男」を悩まし、女性や他の誰かにとってもしんどい「男らしさ」。こんなにつらくて厄介なのに、なくならないのは一体どうして？ どうやったらか解放されるの？ 男性学の専門家、多賀太先生にズバリ、聞きました。

関西大学 教授
多賀太 先生



男性が、「男らしさ」によってしんどさを感じるのは、どうしてなのでしょう？

意外かもしれませんが、まず、現代の日本社会が「男性優位社会」であることを押さえる必要があります。「男性優位社会」とは、社会的・経済的に、男性が女性よりも優位な立場に置かれる社会のことです。例えば日本では、管理職や議員など、重要な決定を下す地位につくのは未だに男性が中心ですし、雇用形態や昇進、賃金などの面でも男性が優遇されています。

しかし、男性優位社会なら、全ての男性が生きやすいかというと、そこではないんです。男性優位社会で理想とされる男性とは、単に「かっこいい男」ではなく、社会的・経済的に女性や他の男性よりも優越している男性のことを指します。今の日本だと、例えば、一家を養うために正社員として長時間働き、弱音を吐かずに我慢強く耐える男性です。そんな「理想的な男性像」をどれだけ実現できているかによって男の価値が計られがちです。しか

し、全ての男性がそんな理想を実現できるわけではないし、実現できてもそのために相当な無理をする。こうして男性たちは生きづらさを感じるようになるのだと思います。

どうしてそんなにしんどいのに、「男らしさ」を
目指すことを辞められないのでしょうか？

「理想的な男性像」を目指そうとしない男性たちは、他の男性たちから「お前、それでも男か」と軽蔑されたり、男性集団から排除されがちです。仕事においては、昇進が遅れ、給料に影響するなど不利益を被ることもなります。そんなリスクを冒してまで、あえて「理想」を目指す男性同士の競争から降りることは、かなり勇気がいりますよね。本当は多くの男性が不自由な「男らしさ」から降りたいと思っているのに、男性優位社会で、男として認められて生きぬくには、無理してでもそれを目指すしかない……。こうして、しんどい「男らしさ」はますます強化されているのだと思います。

まさに悪循環ですね……。座談会の中で、男性同士の間でしんどい「男らしさ」の押し付け合いがある、という話題がでしたが、なぜなのでしょう？

そこにも男性優位社会が関係していると思います。男性に女性以上の成果や長時間労働を求めたり、男性同士で女性を見下す話題を強要し合ったり、「女っぽい」男性をからかったりするのは、男性を「女性とは違う」、女性より優位な存在にしておくためではないでしょうか。それらに乗らず弱々しい言動をする男性や、女性に対して支配者として振る舞えない男性の存在は、男性優位社会にとって都合が悪いのだと思います。こうした男性優位社会のもつで、男性たちは、半ば無意識に、男同士で「男らしさ」を押し付け合い、「男らしさ」の競争から一抜けしないよう相互監視させられているのだと思います。

しんどい「男らしさ」から解放されるには、
どうすればいいのでしょうか？

まずは、自分が無意識のうちに「男らしさ」にとらわれていないかを問い直し、そこから自由になる努力をすることが必要でしょう。とはいえ、制度や法律、職場の環境や暗黙の慣習などの社会的な強制力を前にして、個人が1人でそれらに抗うことには

限界もあります。「しんどいのに降りないお前が悪い！」と言って、全て個人の責任に転嫁するのは酷だと思えます。

だから、男性たちを「男らしさ」で縛っている社会の仕組み自体を変えることも考える必要があります。例えば今の日本では、育児中の給付金は基本給の半額から3分の2程度で上限もあります。それを9割にするなどして、男性が育児を取っても経済的にあまり損をしない制度にすれば、稼ぎ頭の男性の育児取得も進み、「男は稼ぎ手で女は育児」という性別役割分業体制自体が揺らぐかもしれません。

また、そのために不可欠なのは、社会が主流とする価値以外のことを男性同士で話し合える場を作ることです。「これっておかしい！」という違和感を共有できるオルタナティブなコミュニケーションを作ることが、男性自身がしんどさに気づき、意識や価値観を変える、制度やシステムを動かす原動力になるのではないのでしょうか。

男性優位社会が男性にしんどさをもたらししているのだとすれば、最終的には男女平等な社会の実現が男性のしんどさを解消する鍵となります。女性のしんどさにも耳を傾け、女性と共に男女平等な社会の実現を目指すことも重要でしょう。

※ 主流とされているものに対する別の選択肢。

著書紹介



『男子問題の時代?』
錯綜するジェンダーと教育の
ホリテイクス』
多賀太 著 / 学文社 2016年

Profile 多賀太 (たがふとし)

専門は、教育社会学、ジェンダー論。1990年代から、男性の生き方を問い直す「メンズリブ」の市民活動に参加。2016年、女性への暴力防止に男性主体で取り組む「一般社団法人ホワイトリポリンキャンペーン・ジャパン」を設立し共同代表に。現在、国立女性教育会館運営委員、日本女性学習財団評議員、NPO法人デートDV防止全国ネットワーク理事。主な著書に『男性の非暴力宣言』『揺らぐサラリーマン生活』など。

RECOMMEND
BOOK LIST

男性について知る・考える
ためのブックガイド

物語から、考える
男性性研究を知る

『たてがみを捨てたライオンたち』



白岩玄 / 著 集英社
2018年9月

今、この社会で男として生きる苦しさを、3人の男の生き様から描く。家事や育児が出来るも、仕事が入り込み以下たら男として一流のような気がしてしまう。悩める主人公が、たどり着いた答えとは？

『現代思想』第42巻第二号
『男性性の現在(男というジェンダーのゆくえ)』



青土社
2019年1月

「男性性」というジェンダーのあり方を研究する学問、「男性性」。その研究者と実践者による論考とインタビューを取録した本書は、入門的内容を踏まえながら、「男」を取り巻く問題の多様さをしめす一冊。

男ならではの悩み

『平成オトコ塾
悩める男子のための全6章』



澁谷知美 / 著 筑摩書房
2009年9月

男性は女性のヒーローになるべき？男の非モテはどう生きる？……そんな男性特有の悩みを、ジェンダーに明るい社会学者が、具体的にかつ丁寧に解きほぐし、そして厳しく指南する！

男の「失敗」から考える

『よかれと思ってやったのに
男たちの「失敗学」入門』



清田隆之(桃山商事) / 著
晶文社 2019年7月

1200以上の女性の恋バナに耳を傾けてきた著者が、「失望されがちな男性像」20パターンを、自身の経験と反省をおり交ぜて論理的かつコミカルに分析！男女のずれ違いを乗り越えた、ジェンダー平等なコミュニケーションのあり方を探る一冊。

すべての資料が、ウィングス京都の図書情報室で閲覧・貸し出しできます！

(開室時間) 月～土 10:30～20:30 日・祝日 10:30～17:00
(休館日) 水・年末年始・特別整理期間 (TEL) 075-212-0606

参考資料の
閲覧・貸出

男性のための相談室

ウィングス京都では、男性カウンセラーによる、男性のための面接相談・DVに関する電話相談を行っています。相談は無料。秘密は厳守します。

① 電話予約
面接相談 月4回土曜日

電話で面接日をご予約いただけます。

専用ダイヤル 075・212・7830

(受付時間)

月・木・金・土曜日 11時～18時
火曜日 11時～19時30分

② 相談

ウィングス京都に直接来館ください。男性カウンセラーが対応します。

男性DV電話相談

平日の第2・第4火曜日
19時～21時(最終受付20時30分)

暴力をふるってしまった、ふるわれている——加害・被害問わず相談を受け付けています。

専用ダイヤル 075・277・1326

京都市男女共同参画センター ウィングス京都のご案内

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262
TEL: 075-212-7490 FAX: 075-212-7460
アクセス: 地下鉄丸九御池駅(5番出口)または地下鉄四条駅・
阪急丸九駅(20番出口)下車徒歩約5分
開館時間: 月～土 9:00～21:00 / 日・祝 9:00～17:00
休館日: 水 / 12月29日～1月3日
<http://www.wings-kyoto.jp/>

NEWS WORK & WOMEN IN INNOVATION SUMMIT Kyoto

入場無料



2020年1月31日(金) 10:00～17:30(予定)

場所: 京都経済センター

詳細は11月頃公開予定! <http://workwomen-summit.jp>

